

学術ポータル担当者研修

レポート

(1) 発表資料の状況設定

図書館委員会にて「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業委託業務」の構築計画の説明資料の一部として使用した。

(2) 発表内容抄録

タイトル：次世代学術基盤共同構築事業構築計画について

- ① 学術機関リポジトリが大学の学術生産物を電子的に収集し、保存し、発信するシステムであること及びそのメリットについて、国立情報学研究所のホームページを参照しながら説明した。
- ② 「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業」のホームページを参照しながら委託事業の公募に採択されたことを受け、平成20年3月1日のリポジトリ公開を目指していることを報告した。
- ③ 目標、予算、収集範囲、著作権、システム、登録、統計等の項目に分け、今年度及び来年度以降のリポジトリ構築計画について説明した。

特に今年度については、図書館所蔵の博士論文、紀要論文のうち許諾処理ができた論文から PDF 化しリポジトリに収集をすること、委託金はコンテンツの電子化に重点的に充てることを図書館のホームページ及びリポジトリシステムを参照しながら説明した。

(3) リハプレゼンの概要

日時：平成19年11月14日

場所：名古屋工業大学19号館1階会議室

発表者：丹羽 弘

発表対象：図書館委員会委員

参加人数：28人

(リハプレゼンではなく、実際に図書館委員会にて発表した。)

(4) リハプレゼンへの反響

プレゼンテーションの作品自体には反響はなかったが登録者とその共著者の間の許諾について後々の紛争を心配した意見がでるなどリポジトリへの関心は高かった。

(5) その他

今後は学内のへのプレゼンテーションを推進していく予定である。

学術ポータル担当者研修

受講者名： 5-1 丹羽 弘 名古屋工業大学附属図書館学術情報課情報基盤係
5-2 尾藤 泰代 名古屋工業大学附属図書館学術情報課情報基盤係
5-3 藤田 隆徳 名古屋工業大学附属図書館学術情報課情報企画係